

<お問合せ先>

海上保安庁警備救難部国際刑事課海賊対策室
課長補佐 野澤(巡視船派遣)
03-3591-6361(内 5551)、03-3581-1701(直通)

第一管区海上保安本部総務部
広報・地域連携室長 両角(出港式)
0134-27-0118(内 2111)、0134-27-6160(直通)



平成29年12月20日
海上保安庁

海賊対策のために巡視船つがるを派遣します！

～インド、マレーシアにおいて連携訓練を実施～

海上保安庁は、東南アジア海域等における海賊対策として、同海域沿岸国の海上保安機関に対して法執行能力向上支援を実施するとともに、連携・協力関係の構築・推進に取り組んでおり、その一環として、巡視船つがるをインド及びマレーシアに派遣します。

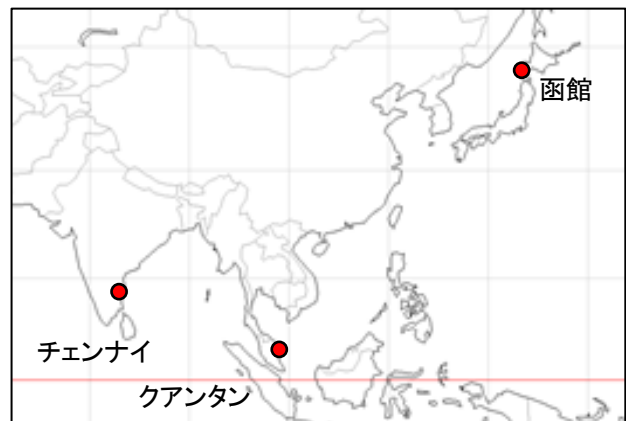
海賊対処を目的として、海上保安庁は平成12年から東南アジア海域等に巡視船・航空機を派遣しており、法の支配に基づく自由で開かれた安全なインド太平洋海域を実現するべく、各国との更なる連携・協力関係の推進を目指します。各寄港地における業務の予定については以下のとおりです。

① インド

- ・平成12年から今回で17回目となる日印海上保安機関長官級会合(デリー、別広報のとおり)の開催にあわせて巡視船つがるをチェンナイへ派遣。
- ・両長官は、長官級会合終了後、チェンナイへ移動し、第16回目の海賊対処連携訓練を視察。
- ・同訓練は、海上保安庁、インド沿岸警備隊、アジア海賊対策地域協力協定(ReCAAP)情報共有センター^{※1}により行われ、スリランカ沿岸警備庁、モルディブ沿岸警備隊がオブザーバーとして参加予定

② マレーシア

- ・海上保安庁及びマレーシア海上法令執行庁による第3回目の海賊対処連携訓練。
- ・日本政府が同庁に供与した巡視船と初めての訓練であり、マレーシア側からは、旧釧路海上保安部所属巡視船えりもである巡視船パカン^{※2}が参加。



1 派遣概要

(1) 派遣巡視船

函館海上保安部所属 巡視船つがる
(総トン数約3,100トン、ヘリコプター1機搭載)

(2) 寄港国(寄港地)

インド(チェンナイ)、マレーシア(クアantan)

(3) 派遣日程

平成29年12月28日(木) 函館港出港
平成30年 1月12日(金) インド・チェンナイ入港
17日(水) 海賊対処連携訓練
19日(金) インド・チェンナイ出港
25日(木) マレーシア・クアantan入港
29日(月) 海賊対処連携訓練
31日(水) マレーシア・クアantan出港
2月12日(月) 函館入港



2 取材について

巡視船つがるの出港式を以下のとおり実施します。

日 時：平成29年12月28日(木)午前11時30分から午後0時まで
場 所：函館港湾合同庁舎 5階共用大会議室
住 所：北海道函館市海岸町24-4
備 考：船内における取材はできません。

出港式の取材を希望される社は、12月25日(月)午後5時までに、海上保安庁広報室(Tel 03-3591-9780)まで連絡をお願いします。また、出港式については12月28日(木)午前11時20分までに、函館港湾合同庁舎 5階共用大会議室にお集まり下さい。

海賊対処連携訓練を含むインド、マレーシアでの取材を希望される社は、12月28日(木)午後6時までに国際刑事課海賊対策室(Tel 03-3581-1701)まで連絡をお願いします。

※1 アジア海賊対策地域協力協定(ReCAAP)情報共有センター

ReCAAP 情報共有センターは、海賊・海上武装強盗対策のための地域協力を促進する国際機関。2006年に発効した ReCAAP に基づきシンガポールに設置され、海賊等の情報共有等を実施。日本からは歴代事務局長及び事務局長補が派遣され、うち事務局長補は海上保安庁から出向。

※2 巡視船パカン

今年1月に解役となった釧路海上保安部所属“旧”巡視船えりも。国内の造船所で所要の改修等を行った後、3月にマレーシアに引渡された。現在の巡視船つがる船長は“旧”巡視船えりも解役時の船長。